

そして、手が暇になり、  
幹夫と絵を書きにゆく事にした。

昨日、新しい絵の具一式を奮発して買った。

幹夫は、小さい自転車を、  
ひとりで、予備の補助車輪なしで、  
自転車乗れるようになったので、  
なんだか、いい気分だった。

二人で自転車に乗って、宇治川の土手へ  
画板を肩にかけて、絵を書きに行った。

前から 何度も 気晴らしに行っている、  
あの土手のところから、  
中書島の工場を 写生した。

気が付くと、大変、暗くなってきたので、  
続きは 今度にして、帰ることにした。  
大変、我ながら感心する出来ばえだった。

夜、英語解釈するまえに、風呂に入った。  
僕が 最初に今日は、初湯を使うので、いい感じ。  
アカが浮いていない！  
ゆっくり入った。  
夜、いとこの修ちゃんが来た。

僕の部屋で寝てもらい、僕は下へ降りて、  
幹夫が寝ることになってい床で寝る。

